

令和5年度  
事業報告書

社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会

## 1. 事業の概要

「お互いさまと言えるあたたかいまちづくり」を基本理念に、関係機関、福祉施設、各種団体、民生委員児童委員、ボランティアの方々などのご協力をいただきながら地域福祉の向上を目指し、様々な事業に取り組んだ。

### 【1】法人運営事業

#### (1) 役員会（理事会・監事会）の開催

##### ①理事会

第1回理事会：令和5年6月8日（木）10時～

##### 議事

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度決算
- ・令和5年度補正予算（第2回）
- ・評議員選任候補者の推薦
- ・令和5年度定時評議員会の開催

##### 報告事項

- ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第5回）
- ・会長専決事項の報告（経理規程の一部改正）
- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第1回）
- ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第2回理事会：令和5年6月23日（金）13時30分～

##### 議事

- ・会長の選任
- ・副会長の選任
- ・常務理事の選任
- ・評議員選任解任委員の選任
- ・職員就業規則の一部を改正する規則
- ・職員の再任用に関する規程の一部を改正する規程

第3回理事会：令和6年3月15日（金）15時～

##### 議事

- ・経理規程の一部を改正する規程
- ・表彰規程の一部を改正する規程
- ・令和6年度事業計画
- ・令和6年度当初予算
- ・評議員選任候補者の推薦
- ・令和5年度第2回評議員会の開催

##### 報告事項

- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第3回）
- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第4回）
- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第5回）
- ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

## ②監事会

第1回監事会：令和5年5月19日（金）10時～16時

監査事項

- ・令和4年度会計の諸表に関する事

第2回監事会：令和5年10月25日（水）10時～16時

監査事項

- ・令和5年度上半期会計の諸表に関する事

## (2) 評議員会の開催

定時評議員会：令和5年6月23日（金）10時～

議事

- ・令和4年度事業報告及び決算
- ・令和5年度補正予算（第2回）
- ・理事及び監事の選任

報告事項

- ・会長専決事項の報告（令和4年度補正予算 第5回）
- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第1回）

第2回評議員会：令和6年3月25日（月）10時～

議事

- ・令和6年度事業計画及び当初予算
- ・監事の選任

報告事項

- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第3回）
- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第4回）
- ・会長専決事項の報告（令和5年度補正予算 第5回）

## (3) 評議員選任・解任委員会（文書審議）

令和5年6月9日付けで文書審議を行った。

議事

- ・評議員の選任

令和6年3月15日（金）16：30～

議事

- ・評議員の選任

## (4) 社協会員の加入促進

市内全戸会員制度の意識高揚と財源確保を目的として、区長会・民生委員児童委員協議会のご協力を得て会員の加入に取り組んだ。

	5年度 件数	5年度 会費
一般会費（1口 400円）	14,205	5,681,700
賛助会費（1口 1,000円）	919	983,000
団体会費（1口 3,000円）	0	0
法人会費（1口 5,000円）	7	50,000
計	15,131	6,714,700

## 【2】老人福祉センター運営事業「日輪荘」（市補助事業）

送迎バス「日輪号」を週4回（火・水・木・金）定期運行し利用者の便を図った。また、健康相談、謡曲教室、吟詠教室、囲碁例会などを開設し、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。利用状況は、次のとおりである。

	市 内	市 外	合 計
令和5年4月	669	15	684
5月	599	20	619
6月	601	18	619
7月	574	12	586
8月	461	8	469
9月	616	17	633
10月	704	20	724
11月	632	12	644
12月	635	14	649
令和6年1月	597	17	614
2月	638	17	655
3月	682	18	700
計	7,408	188	7,596

（単位：人）

※大雨のため6/30、7/3、7/10を休館、台風6号接近のため8/9、8/10を休館

※雪のため12/22、1/24を休み

## 【3】老人福祉センター運営事業「長寿園」（市補助事業）

マイクロバスを北方町内で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。利用状況は、次のとおりである。

	市 内	市 外	合 計
令和5年4月	301	17	318
5月	234	13	247
6月	213	13	226
7月	190	10	200
8月	143	4	147
9月	229	5	234
10月	286	6	292
11月	230	0	230
12月	301	1	302
令和6年1月	307	0	307
2月	213	1	214
3月	276	0	276
計	2,923	70	2,993

（単位：人）

※大雨のため6/30、7/3、7/10を休館、台風6号接近のため8/9、8/10を休館

※雪のため12/22、1/24を休み

#### 【4】老人福祉センター「さざんか荘」（市受託事業）

送迎バスを山内町内で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味とコミュニティの場として福祉の向上に努めた。利用状況は、次のとおりである。（単位：人）

	市 内	市 外	合 計
令和5年4月	330	0	330
5月	313	0	313
6月	323	0	323
7月	275	0	275
8月	248	0	248
9月	305	0	305
10月	317	0	317
11月	329	0	329
12月	290	0	290
令和6年1月	225	0	225
2月	272	2	274
3月	277	0	277
計	3,504	2	3,506

※大雨のため6/30、7/3、7/10を休館、台風6号接近のため8/9、8/10を休館

※雪のため12/22、1/24を休み

#### 【5】デイサービス運営事業（市受託事業）

介護保険の認定で自立と判定された高齢者で支援を必要とする方への介護予防事業として、「生きがい対応型デイサービスセンター事業」に取り組んだ。利用者数は次のとおり。（単位：人）

湯遊くらぶ（武雄）								
	武雄	橘	朝日	若木	武内	東川登	西川登	計
令和5年4月	68	11	36	17	64	58	7	261
5月	67	8	53	16	47	73	10	274
6月	75	12	31	12	77	55	8	270
7月	66	12	31	21	47	30	6	213
8月	52	6	34	9	47	45	7	200
9月	74	12	36	10	61	50	6	249
10月	70	8	52	6	63	61	8	268
11月	79	9	45	9	47	57	7	253
12月	68	8	52	4	50	64	7	253
令和6年1月	57	10	43	3	55	44	5	217
2月	53	8	50	4	57	41	7	220
3月	55	8	53	3	64	51	9	243
合 計	784	112	516	114	679	629	87	2,921

ふれあい（山内）		やわらぎ（北方）	
令和5年4月	47	令和5年4月	56
5月	30	5月	72
6月	51	6月	61
7月	48	7月	52
8月	44	8月	54

9月	54	9月	56
10月	54	10月	65
11月	52	11月	66
12月	49	12月	65
令和6年1月	51	令和6年1月	46
2月	52	2月	51
3月	55	3月	52
合計	587	合計	696

※大雨のため6/30、7/3、7/10、台風6号接近のため8/9、8/10を休み

※雪のため12/22、1/24を休み

## 【6】福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続き、金銭管理などの支援を行った。令和5年度末の利用契約数56件（契約内訳は新規14件、解約13件）、相談支援件数延5,512件であった。

## 【7】市社協つなぎ生活費貸付事業

低所得者世帯に属し、生活上一時的に緊急な少額のつなぎ生活費を必要とする方を対象に、関係機関と連携を取りながら資金貸付を行った。令和5年度の相談件数152件、貸付件数55件、貸付金額760,500円、償還完了件数62件であった。

なお、償還の見込みのない貸付金については処理要綱に基づき、次のとおり債権の不能欠損処理を行った。

- ・第3条第1項第2号に該当する不能欠損処理 1件 15,000円
- ・第3条第1項第3号に該当する不能欠損処理 3件 45,000円

## 【8】県社協生活福祉資金貸付事務事業

県社協の委託事業で、低所得世帯、障がい者世帯、または、高齢者世帯を対象に資金を貸し付けることにより、その世帯の自立更正を図ることを目的に事業を実施している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた貸付制度による緊急小口資金等の特例貸付の償還免除や猶予申請などフォローアップ支援を行った。通常貸付の相談件数20件、特例貸付の相談件数135件であった。

## 【9】生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者を対象に自立した生活に向け関係機関と連携し相談業務を実施している。令和5年度は、総相談対応数2,186件、総相談者数159名、その内新規相談者数42名、利用申込件数19件、プラン作成件数23件（自立16件、家計6件、就労準備1件）であった。

また、生理の貧困への対応として相談を受けるときに必要な方への配布や事務所女子トイレに相談先のチラシを添えた生理用品を備え置いた。

## 【10】各種団体助成事業

- (1) 地区社協活動費の交付  
 地域住民の要望を踏まえ社協活動を強化し、それぞれの地域に応じた活動を行い、住民の福祉の増進を図るため、総額4,503,000円の地区社協活動費を交付し育成に努めた。
- (2) 各種福祉団体等運営費助成事業  
 市内で活動する9つの福祉団体の育成を図るために、総額2,561,650円の助成金を交付した。

## 【11】福祉のまちづくり事業

- (1) サロン等わくわくお出かけ支援事業  
 デイサービス送迎車両の空き時間を有効活用し、ふれあいいきいきサロン利用者の楽しみの機会を作ることを目的とし、65件のお出かけ支援を行った。
- (2) 弁護士相談  
 市民のあらゆる相談に対応する目的で、佐賀県弁護士会の協力を得、無料弁護士相談を計24回開催した。開催日及び会場は次のとおり。  
 本 所 毎月第2木曜日 13:00 ～ 16:00 (12回)  
 武雄市社会福祉協議会本所 相談室  
 山内支所 毎月第4木曜日 13:00 ～ 16:00 (12回)  
 武雄市社会福祉協議会山内支所 1階相談室  
 (老人福祉センターさざんか荘内)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
相談事項	生年	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療	人権・法律	財産・相続	借金問題	金銭トラブル	事件・事故	老人福祉	児童福祉	障がい者福祉	母子福祉・父子福祉	苦情	その他		
件数	0	0	2	10	0	0	9	1	3	19	6	4	1	0	0	0	0	1	28	84

- (3) 拝啓お元気ですか助成事業  
 一人暮らし高齢者とのふれあいを目的とした訪問活動や配食サービス等を実施する市内ボランティアグループ等9団体に対し、事業費の助成金、総額814,000円を交付した。
- (4) 24時間テレビチャリティーへの協力  
 24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティー募金活動を実施される市内の団体や学校と24時間テレビチャリティー委員会との連携を佐賀県社会福祉協議会を通じて実施した。募金活動に取り組んだ団体は社協を含め6団体で合計79,083円を送金した。
- (5) ふれあいいきいきサロン推進事業  
 高齢者の方々を対象に、地域の人々が助け合い生きがいをもって生活できるよう、地区社協を核とし、ボランティアの協力を得ながらサロンの運営支援に努めた。また、サロン代表者から依頼を受け11サロンを訪問し、レクリエーションの紹介や社協事業の

紹介等を行った。

今年度はサロン数が少ない若木町を中心に第2層協議体生活支援コーディネーターと協力しサロン推進を行った。サロン未実施2地区においてサロン説明会を実施した。その結果、若木町で4サロン立ち上がった。3月末現在サロン設置件数142件。

## 【12】緊急援護事業

### (1) 緊急生活支援

「いのちをつなぐ糧事業」では、玄米、白米、そうめん、缶詰、インスタント食品、レトルト食品等を、団体や個人から105件ご寄付をいただき、延べ534名へ食料支援を行った。

### (2) 災害見舞金の交付

次のとおり見舞金をお届けした。

- ・5月23日（火）全焼1件（2F借家人1名死亡） 2世帯へ見舞金及び香典
- ・6月17日（土）全焼1件 1世帯へ見舞金
- ・1月21日（日）全焼1件 1世帯へ見舞金

### (3) エール事業

物価高騰に対応して生活に困窮している子どもやその家族へ物資の支援を通じつながることで物的、精神的な応援を行った。

#### ① いのちをつなぐ糧事業の拡充

いのちをつなぐ糧事業で食料等支援物資の寄付を受付けているが、これを拡充するため食料を購入し、相談者の生活状況や世帯人数に合わせ支援を行った。

対象者実数30人（延べ101人）

また、昨年度に引き続き、武雄市笑顔コーディネーターと連携し支援が必要な子どもの世帯へお米を支援し保護者への相談窓口の周知につなげることができた。

#### ② 生理の貧困への対応

市母子寡婦福祉連合会を通じ生理用品を2回配布し、子どもや保護者との相談支援の一助となった。対象者実数16人（延べ32人）

#### ③ ひとり親家庭を支援する団体への応援

市母子寡婦福祉連合会が取り組む小中学生対象の学習支援事業へ軽食の支援を行ない、子どもたちの学習意欲向上につなげることができた。

対象者実数16人（延べ192人）

#### ④ 子ども食堂への応援

子ども食堂を運営する者に対し上限10万円の助成を行った。1団体、2個人から申請があり助成を行った。子ども食堂の活動内容は、子どもの居場所づくりに取り組む団体の食事の提供、個人が生活困窮の子どもたちへお弁当の配布や公民館で学童保育の児童へ食事の提供。（100,000円×1団体、49,527円×1人、50,857円×1人）対象者実数270人（延べ886人）

### (4) 生活困窮者への緊急支援活動助成事業（県共同募金会助成）

・生活困窮者への支援事業として、食料品や日用品を購入し、これらと生活自立支援センターのチラシを添えて、行政機関や笑顔コーディネーターと連携し、相談に



つながっていない方へアプローチをする際に配布し、相談のきっかけづくりができた。対象者実数 70 名

・生活福祉資金（特例貸付）を利用された方への支援として、連絡がとれなかった相談者から連絡をもらうことができた。また、償還が滞っている方から生活状況を聞き取り猶予申請や免除申請につなげることができた。

### 【13】認知症地域支援・ケア向上事業（市受託事業）

地域のみなさんや認知症サポーターの方、医療や介護・福祉の専門職など、さまざまな方・団体と連携、協力しながら認知症になった方・ならなかった方を区別なく安心して暮らせるように地域で支える体制づくりに取り組んだ。

- (1) 地域において認知症を支援する関係者の連携を図る取り組み
  - ・キャラバン・メイト情報交換会を2回開催した。
  - ・集合型研修の開催も増え、特に佐賀県主催の研修では県内活動事例や他職種と話す機会も多く今後の活動の参考となった。
- (2) 地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するための取り組み
  - ・認知症に関する相談件数 36件
- (3) その他、認知症啓発活動の取り組み
  - ・市の出前講座に項目を作り、市民の方が気軽に認知症を学んでいただけるよう3つの講座を実施した。
    - 認知症予防講座～ 29件
    - 認知症の方への接し方講座 16件
    - 認知症サポーター養成講座 4件
  - ・事業所向け認知症サポーター養成講座（認知症セミナー）を10月に実施。18事業所から41名の参加あり。
  - ・広報紙「オレンジだより」の発行
    - 「オレンジだより」を作成し、5月・9月・3月の3回全戸配布を行った。
  - ・認知症の方やそのご家族が集える場として認知症カフェ 名称「オレンジカフェたけお」を5回開催した（延べ55名参加）
  - ・アルツハイマー月間啓発展示
    - 武雄市図書館において、9月1日～30日までアルツハイマー月間啓発掲示を行った。養成講座を受講した中学生の標語や武雄市認知症サポーター登録店の紹介等を行った。最終日はおしゃべりカフェや健康測定を実施し、多くの方に立ち寄っていただいた。

### 【14】小地域ネットワーク活動推進事業（市受託事業）

地域に住む援助の必要な方々を中心に、周囲の人々が助け合い支え合って生活できるよう地区社協を核とし、民生委員の協力を得て見守り支援体制の強化に努めた。

(R6.3月末時点)

・9町 対象者数 305 名、ネットワーク数 287、協力員数 633 名、活動延べ月数 3,163 カ月

## 【15】生活支援体制整備事業第2層（武雄町）（市受託事業）

令和5年4月に武雄町の体制整備事業である第2層のコーディネーターの委嘱をうけ、活動拠点である“ささえあい みふね”よか楼にて、第2層協議体委員会の活動研修及び話し合いをおこなった。

活動内容：講座開催11回(5月～3月)、小委員会12回、第2層協議体委員会4回、各種部会及びSCコーディネーター会議・研修会への参加、広報誌発行

## 【16】高齢者福祉事業（共同募金配分事業）

### (1) 移動サービス・福祉車両貸出事業

公共の交通機関を利用するの外出が困難な高齢者や障がい者を対象に、福祉車両（車イス搬送仕様自動車）を利用した移動サービスおよび福祉車両の貸し出しを行った。移動サービスの際の運転は、運転ボランティアや職員が行い、令和5年度利用登録件数は14件(内2件は借用のみ)で、利用件数は移動サービスが100件、移送車貸出が9件であった。

### (2) 市内最高齢者記念品贈呈

敬老の日に長寿を祝い、市内の男女それぞれの最高齢者に記念品を贈呈した。

## 【17】障がい児・者福祉事業（共同募金配分事業）

### (1) 障がい児者交流活動事業助成事業

武雄市ボランティア連絡協議会、ボランティア武雄「みふね55会」が実施する障がい児者との交流会や在宅訪問活動に対し81,053円の助成金を交付した。

### (2) 共生型ふれあい交流事業

地域共生社会の実現に向けて、障がいがある方も無い方も、誰もが家族や職場・学校だけではなく様々な人と一緒に体験をおこなう事により、相互の交流を深め、人と接する喜びを感じてもらう事を目的に開催した。今年度は、桜を見ながらウォーキングとシニアリーダーの方を講師としてお願いし、バームクーヘン作りをおこなった。

参加者：障がい者26名、保護者2名、引率者6名、ボランティア(学生含む)25名

## 【18】児童・青少年福祉事業（共同募金配分事業）

### (1) 新入学児童「黄色い帽子」贈呈事業

市内小学校の新入学児童の交通安全と地域住民の見守りによる防犯を目的に、入学式に415個の黄色い帽子を贈呈した。

### (2) ボランティア活動実践校活動費助成金交付事業

市内の小・中・高等学校、16校に対しボランティア協力校として、活動費総額699,017円を助成し育成に努めた。

(小学校) 武雄小、御船が丘小、朝日小、若木小、武内小、東川登小、西川登小、橘小、山内東小、山内西小、北方小

(中学校) 武雄北中、山内中、北方中、武雄中

(高等学校) 武雄高

(3) チャレンジ教室

就学援助を受けている児童を対象に、教育委員会や市内小学校と連携し、笑顔のコーディネーターや地域のボランティアの協力を得ながら長期休暇期間自宅で過ごす子どもたちに宿題を一緒におこなう学習支援、子ども同士やボランティア等との多世代交流や体験・活動を通して学校とは違った環境で楽しく安心して過ごしてもらうことを目的に実施し、不登校の子どもも参加することができた。

- ・夏休み 前半3日間 延べ48名、後半3日間 延べ54名
- ・冬休み 2日間 延べ27名

【19】地域福祉事業（共同募金配分事業）

(1) 手話講習会の開催

市民の方を対象に聴覚障害者の伝達手段の一つである手話を学ぶ機会として、武雄手話の会と共催し講習会を開催した。幅広い年齢層の方、親子で参加されるなど、32名応募があり、10回以上参加者へ修了証をお渡しした。

開催日 7月13日～9月28日毎週木曜日（全12回）

(2) 「お互いさま活動」支援事業

地域の方々を交えて行う福祉のまちづくりを目的とした団体・グループの事業に対し助成を行う事業で、上限を10万円とし、申請のあった2団体に対し各100,000円の助成金を交付した。

(3) 地域福祉を考える会

低学年の子どもを対象に親子で福祉について楽しく学んでもらう為、令和6年3月20日老人福祉センター日輪荘において、「おやこdeなぞときクエスト」を開催した。武雄看護リハビリテーション学校の皆さんの協力を得て、部屋を訪れる親子にヒントを交えながら出題してもらい、福祉にかかわる問題10問に親子22名に挑戦してもらった。

(4) 福祉教育の推進と体験学習指導

福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるため、総合学習の一環として依頼があった市内小学校中学校へ出向き、「高齢者疑似体験」「アイマスク体験」「車イス体験」等について指導し、福祉に対する理解を促した。

- ・令和5年度は 小学校7校 計11回

(5) ボランティアグループ活動費助成事業

市内のボランティアグループ（13グループ16事業）に対して総額673,000円の助成金を交付した。

(6) ボランティアセンター事業

ボランティア活動の活性化を図る為に、ボランティアの育成援助並びに地域のニーズ把握や情報提供を行い、市民のボランティア意識高揚とボランティア活動の推進をおこなった。

①ボランティアコーディネート（相談・登録・情報提供）の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

②武雄市ボランティア連絡協議会への支援・協力

武雄市ボランティア連絡協議会が開催する会議への参加と各種事業への支援・協力を  
行った。

③ボランティア活動保険の受付

地域行事やボランティア活動などを支援するため、ボランティア保険の加入受付を行  
った。

④広報誌「ボランティアだより たけお」の発行支援 8月1日発行

⑤ボランティア活動の広域的な展開

杵島・武雄地区ボランティア連絡協議会との連携を強め、合同研修・視察研修等の活  
動を実施した。

(7) 安心・安全なまちづくり支援事業

住民が地域で安心・安全に生活するための課題解決に向けた取り組みを支援するため  
7地区へ助成金を交付した。

・小野原区掲示板設置事業	200,000 円
・掛橋区公民館防犯カメラ設置事業	74,000 円
・木の元区自治公民館掲示板設置事業	200,000 円
・宇土手自治公民館広場防護柵改修事業	118,000 円
・片白区掲示板設置事業	200,000 円
・北上滝区公民館掲示板更改事業	200,000 円
・船の原公民館椅子運搬車購入	123,000 円

(8) 第15回武雄市社会福祉大会の開催

福祉についてともに考え理解を深める機会とすることを目的に開催した。  
式典では、長年にわたり地域福祉の発展に貢献された30名の方の表彰を行った。  
講演では、ノンフィクション作家 小松成美氏より「働く幸せを実現した町工場の奇跡  
～社員の7割が知的障がい者のチョーク会社の真実～」と題してお話をいただき、障害者  
雇用について理解を深めることができた。

また、会場では市内福祉施設の出店と佐賀県共同募金会デザイン・標語コンテスト作品の  
展示を行った。

日 時 令和5年11月26日(日)10時～12時  
場 所 武雄市文化会館 小ホール  
来場者 約200名

(9) 福祉機器等貸出事業

社協で所有する車イスの無料貸出しを行った。貸出し件数は52件であった。  
また、社会福祉施設へ綿菓子機の貸し出しも行った。貸出件数は10件。

(10) 家屋内ごみ片付け支援事業

令和5年度は相談が1件寄せられたが、申請されなかった。

(11) 遺言・相続相談

遺言及び相続に関する相談を専門的に対応する目的により、佐賀県行政書士会の  
協力を得て、無料相談を計12回開催した。開催・会場及び相談件数は次のとおり。

本 所 偶数月第3木曜日 13:00～17:00(6回)  
 武雄市社会福祉協議会本所 相談室  
 山内支所 奇数月第3木曜日 13:00～17:00(6回)  
 武雄市社会福祉協議会山内支所(老人福祉センターさざんか荘内)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本 所	4		2		2		4		4		2	
山内支所		4		2		3		2		3		3

(12) 社協広報誌の発行

「武雄市社協だより かがやき」を6回発行(奇数月)し、社協活動・地域福祉活動の啓発を目的に市内全戸に配布した。

(13) 歳末たすけあい配分事業

篤志募金、街頭募金の総額106,435円に社協一般財源を合わせ、市内15の福祉事業所へ各20,000円を配分し、年末年始の行事に役立てていただいた。

《事業所名》シルバーケア武雄、くろかみ学園、すみよしの里、いぶき村、指定生活介護事業所ハーモニー、ワークショップ道の家、ゆず、ゆめランチ、LAUGHらふ、ハートフルまんてんコア、若楠、つくしのさと北方作業所、菜菜、みふねが丘、地域活動支援センターオアシスみふね

## ◎赤十字活動

### 【1】社員増強運動

5月に全国一斉に展開される「赤十字運動月間」に伴い、区長会・婦人会のご協力を得て、市内全戸に対し赤十字活動を支える社員としての呼びかけを行い、会員募集を実施した。

	5年度会員数(世帯)	5年度会費(円)
会費(1世帯あたり目標額 600円)	14,201	8,521,000

### 【2】講習会等の実施について

#### (1) 水上安全法講習会

夏休みを前に、水の事故防止と溺者の救助に備えるため講習会を開催した。

期 日 令和5年7月17日(月・祝)  
 会 場 山内中央公園スポーツセンター  
 参加者 26名(学校プール監視員15名、スポーツセンター管理人10名、一般1名)  
 講 師 武雄消防署山内分署2名  
 内 容 AEDを使った心肺蘇生法及び水の事故が起きた時の対応についての講話

#### (2) JRC青少年赤十字加盟推進

赤十字の精神に基づき学校の教育方針や実情に即し学校教育の発展に青少年赤十字を活用していただくため、青少年赤十字の加盟を勧め、新たに4校(小学校2校、中学校2校)加盟していただいた。

令和5年度加盟校数:小学校7校、中学校6校、高校1校 計14校

#### (3) 佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館見学

赤十字の精神を学ぶため、市内小学4年～6年生を対象に歴史館見学、干潟よか公園、佐賀県血液センターを見学し、赤十字の歴史や事業を楽しく学ぶことができた。

日時 令和5年10月6日（金）キッズウイーク  
 参加者 11名（4年生4名、5年生1名、6年生6名）

(4) 災害救援講習会助成事業

災害救援の啓蒙や地域住民による災害時の知識や技術習得のための講習会などに取り組み19地区に対し357,778円（上限2万円）を交付した。

【3】災害見舞金品の交付

火災のため全焼した4世帯に対し毛布、緊急セット、バスタオル、見舞金をお届けした。

【4】義援金受付

2023年トルコ・シリア地震救援金	41,000円
ウクライナ人道危機救援金	87,968円
令和6年能登半島地震災害義援金	4,020,263円

◎共同募金運動

(1) 赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施し、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡協議会ほか市民の皆さまのご協力をいただき、多くの募金をお寄せいただいた。

このなかで、資材募金については、市内の企業や就労支援施設の商品を活用し取り組んだ。

募金種別	実績額
戸別募金	7,044,500
法人募金	812,000
資材募金	243,600
学校募金	36,228
街頭募金	79,440
イベント募金	42,018
個人募金ほか	5,146
計	8,265,753

(2) 歳末たすけあい運動 12月1日～12月31日

ささえ合いのまちづくりを目指して、篤志寄付の受付、街頭募金に取り組んだ。

募金種別	実績額
街頭募金	33,169
個人募金	23,000
その他募金	30,257
法人募金	18,800
計	105,226

(3) 災害見舞金の交付

火災で全焼した4世帯に対し見舞金をお届けした。

(4) 義援金受付

令和5年7月九州北部豪雨災害佐賀県義援金	505円
令和6年能登半島地震災害義援金	1,410,773円